

『C型肝炎新薬続々登場。しかし、耐性には注意！』

肝臓川柳



『1回で いつでもウイルス 懲らしめる』

(1日1回で食事の影響を受けない)

(懲らしめる→こらしめる→テラシメる→テラ・シメ

テラプレビルからシメプレビルへ)

.....ノノノノノ

●12月6日に

現在3剤療法で使用されているテラプレビル（テラビック）と同じく、ウイルス直接阻害剤（DAA 剤）の中の NS3/4A 阻害薬である、シメプレビル（ソブリアード）が発売開始されます。

●現在の治療

C型肝炎治療は、ペグインターフェロン、リバビリン2剤投与を根本に DAA 剤を併用する3剤療法が可能となり、きわめて高いウイルス駆除率となっています。

●今回のシメプレビル（ソブリアード）は

- ・副作用が少ない
 - ・1日1回投与
 - ・食事の影響がない
- など大変使いやすい薬剤となっています。

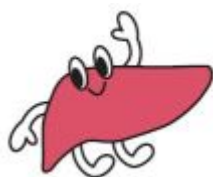
●今後の展開

たくさんの DAA 剤（NS5A 阻害剤、NS5B 阻害剤）が登場予定で、経口投与である DAA 剤の組み合わせだけで、インターフェロンを使用しなくてもウイルス駆除が可能となるとマスコミで大きく取り上げられています。

●注意すること

経口薬のみでウイルス駆除が可能になることは、C型肝炎の患者さんにとって大変な朗報なのですが、一つだけ注意が必要なのは、“耐性”の問題です。インターフェロン併用治療では大きな問題にはなりません（インターフェロンは耐性ウイルスに効果があるため）経口剤のみの投与で、ひとたび強力な耐性が出現してしまうと、どのような治療も不可能になってしまうとのことです。

※たくさんの情報がありますので、今後肝トピックスでも少しずつ整理して紹介します



これだけ覚えておけば損はない！

今回のポイント

現在使用されているテラビックと同じウイルス直接阻害剤のソブリアードが発売されます。副作用が少なく、1日1回投与、食事の影響が少ないなど大変使いやすい薬剤です。今後たくさんのウイルス直接阻害薬が登場予定で、経口薬のみでの駆除が可能になるでしょう。しかしながら耐性出現の問題があるため、現在慎重に検討されています。

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫)